



生活衛生ニュース

July 2021

Vol. 8 / No.07 (通巻91号)

発行：(株) 静環検査センター

静岡県藤枝市高柳2310番地 tel.054-634-1000 fax.054-634-1010

養鶏業界を襲う鳥インフルエンザ

～ヒト型への変異に注意～

はじめに

国内で今シーズン(2020-2021年冬季)に、鳥インフルエンザが大発生し、多数の養鶏が殺処分になり、被害を受けた養鶏農家は、精神的にも経済的にも大きな打撃を受けました。

鳥インフルエンザは、インフルエンザA型のウイルスに感染して起こる鳥類の病気です。国の食品安全委員会は、現状では「家禽(かきん)の肉や卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はない。」¹⁾としています。その理由として、ヒトがこのウイルスに感染するための細胞表面の受容体がトリの受容体と異なること、また、このウイルスは酸に弱く、ヒトの体内で胃酸などの消化液により不活化されることを挙げています。しかし、感染鳥との濃厚接触により、ヒトの感染が成立する場合もまれにあります。

本ニュースでは、この鳥インフルエンザの発生状況、感染経路、防疫措置等について、紹介します。

法的位置づけと感染鶏の症状

家畜伝染病予防法では、このウイルスの病原性の程度などにより、①高病原性鳥インフルエンザ(H5及びH7亜型)、②低病原性鳥インフルエンザ(H5及びH7亜型)及び③鳥インフルエンザ(H5及びH7亜型以外)の三つに分類されています。国内では、発生すると予防の

観点から、高病原性に変異する可能性のある低病原性鳥インフルエンザについても、高病原性鳥インフルエンザと同様に殺処分等の防疫措置が講じられます。

また、高病原性鳥インフルエンザに感染した鶏の主な症状は、肉冠(鶏冠)や肉垂のチアノーゼ、出血・壊死、顔面の浮腫、産卵低下また停止、神経症状、下痢等であり、高い死亡率を示します。

一方、感染症法では、表に示すようにヒトの鳥インフルエンザについて、H5N1及びH7N9が二類感染症に、また、H5N1及びH7N9以外が四類感染症にそれぞれ分類されています¹⁾。

発生状況

2020年度、国内の養鶏場における鳥インフルエンザは17県、50事例で発生し、養鶏場の985万羽が殺処分されました²⁾。1シーズンでの被害としては、過去最多となっています。主な発生県は、千葉県(471万羽)、香川県(179万羽)、茨城県(84万羽)、宮崎県(92万羽)、岡山県(64万羽)です。

(次頁につづく)

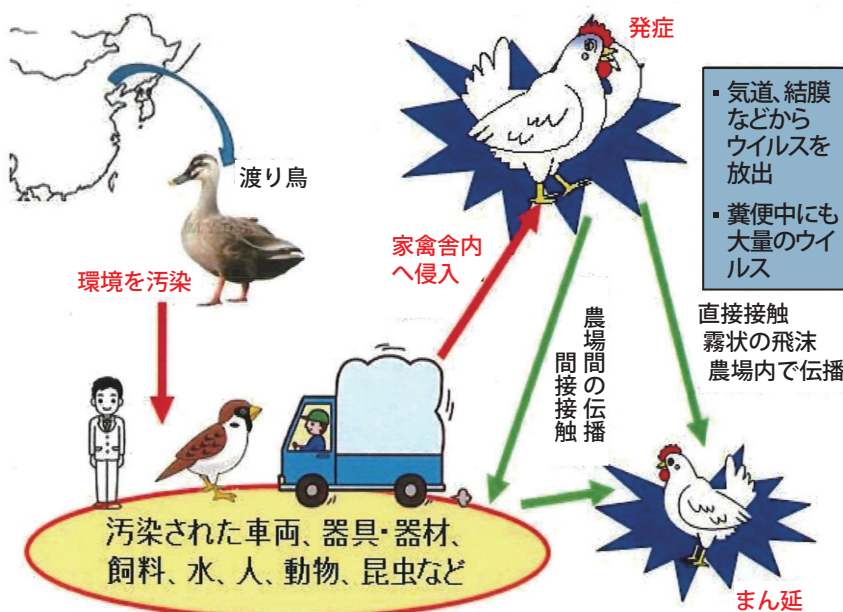


図 鳥インフルエンザ伝播様式³⁾

表 鳥インフルエンザの法的位置づけ

根拠法令		家畜伝染病予防法		感染症法	
所 管		農林水産省		厚生労働省	
ウイルスの亜型		H5、H7	H5、H7以外	H5N1、H7N9	H5N1、H7N9以外
鶏に対する病原性	高い	①高病原性鳥インフルエンザ	③鳥インフルエンザ	鳥インフルエンザ (二類感染症) 必要に応じて入院や周囲の消毒などの措置	鳥インフルエンザ (四類感染症) 保健所への届出
	低い	②低病原性鳥インフルエンザ			

(前頁のつづき)

今季に発生した鳥インフルエンザでは、全ての事例で致死率の高い高病原性インフルエンザウイルス(H5N8)が検出され、また、河川や湖畔での野鳥や糞などの調査からも同じウイルスが見つっています。海外でも、鳥インフルエンザの感染拡大が深刻で、欧州20カ国以上で日本と同じH5N8が検出されました。アジアでは、日本や韓国(808万羽殺処分)を中心として7つの国と地域から、さらに中東のイラクやクウェートなどでも同型ウイルスが検出されています。

これらのことから、農水省は「海外から飛来する渡り鳥がウイルスを持ち込み、国内感染を拡大している。」と見ています。また、海外でも「環境中のウイルス量が増大している。」と指摘しています。

感染経路

養鶏場に鳥インフルエンザウイルスを持ち込む主な宿主は、ツルやカモ、白鳥などの渡り鳥で、大陸から飛来し、ウイルスが糞便等によって山野、森、湖、池、河川、公園、道路等に拡散されます。今シーズンも国内の環境中に多量の鳥インフルエンザウイルスが存在しているのが実態です。養鶏場の近くに生息し小動物を捕食するハヤブサやフクロウなどの猛禽類(もうきんるい)及びカラス、スズメなどが感染していると思われ、警戒が必要で

鳥インフルエンザの国内への侵入ルートは、上述のように渡り鳥などを介して侵入するルート以外に、輸入鳥類(愛玩鳥等)、海外の発生国からの輸入肉や卵、又は海外の発生国からヒトの持ち込み等が考えられます。

今シーズンの渡り鳥(環境省飛来状況調査:52ヶ所による)は、例年と同程度の飛来数となっています。また、鹿児島県出水市で行っているツルの飛来数調査では、過去最高と報道されました。この出水市におけるこれまでの飛来数調査結果では、2020年:約17,000羽、2019年:約15,000羽、2018年:約14,000羽となっています。

また、2020年度の環境省の調査⁴⁾では、北海道から鹿児島まで全国各地(18道県、58事例)の野鳥(糞便も含む)から

鳥インフルエンザ(H5N8)が検出されていますが、渡り鳥だけでなく、食物連鎖の頂点である猛禽類からも検出されました。それらは8道県、11事例に及んでおり、オジロワシ(北海道)、ハヤブサ(北海道、栃木県、岡山県)、ノスリ(栃木県、富山県、香川県、鹿児島県)、オオタカ(奈良県)及びフクロウ(栃木県、埼玉県)となっています。さらに、環境中の水でも、新潟県(阿賀野市瓢湖の水)、長野県、鳥取県(気高町日光の水)、宮崎県、鹿児島県(出水市のツルのねぐらで採取された水)からも検出されています。

今シーズンの特徴は、養鶏場周辺のあちこちに多量の鳥インフルエンザウイルスが存在していることになります。

予防方法及び発生時の防疫措置

(1) 予防方法

以下の1)～5)などの衛生管理を徹底し、感染予防を行うことが重要です。なお、不活化ワクチンは、感染自体を防ぐことはできないため、原則として使用はしません。

- 1) 養鶏場、人、物、飼料、車両の消毒等により、ウイルスを一定以下までに減少
- 2) 異常な鶏を見つけたら直ちに検査
- 3) 養鶏場における殺処分、消毒の実施
- 4) 養鶏場の作業員は、手指の消毒や衣服、靴の交換
- 5) 侵入車両の消毒、野生動物の侵入防止ネットの設置

(2) 発生時の防疫措置

高病原性鳥インフルエンザが発生した場合、蔓延防止のための徹底的な防疫対策の実施が重要となります。まず、発生養鶏場では飼育鶏の殺処分が行われます。また、周辺養鶏場では鶏や鶏卵等の移動制限、清浄性確認の検査等が行われます。

このウイルスに対する消毒薬としては、逆性石けん製剤、複合製剤、アルデヒド製剤、塩素系製剤、アルコール製剤、消石灰などが使用されますが、ほとんどの消毒薬が有効です。実際に消毒を実施する際には、以下の1)～4)の注意点を守ることが大切です。

- 1) 消毒薬を使用する前に、踏み込み消毒槽、動力噴霧器などを整える。添付の使用指示書をよく読む。特に推奨希釈

倍率、作業従事者への影響などについて正確な情報を入手する。

- 2) 消毒薬の使用に際しては、有機物の混入は、全ての消毒薬の効果を低減させるため、消毒薬使用の前に水洗により、有機物を十分洗い落とす。また、消毒薬液の温度が低いと効果の下がる薬液が多いため、冬季は、温水を利用するか、通常よりも濃い薬液を準備する。病原体は、瞬間的には消毒されないため、薬液への作用時間を十分にとる。

- 3) 効果的な消毒を継続するために、特に踏み込み消毒槽の消毒薬は、毎日交換する。

- 4) 作業をマニュアル化し、作業を徹底する。

おわりに

今シーズンは鳥インフルエンザの多発により、鶏卵業者や鶏肉生産者は多大な被害を受け、卵の供給不足による高騰も招きました。

また、世界的には「トリ→ヒト感染」の件数は少ないながらも発生しており、「ヒト→ヒト感染」への変異が懸念される状況にあります。この変異が起こった場合、新型コロナウイルスよりも大きな影響が出ることが予想されます。

鳥インフルエンザウイルスについては、これまで、鶏肉や鶏卵を食べることによってヒトに感染した事例の報告はありませんが、食中毒予防の観点からも鶏肉は十分加熱して食べること、未加熱、又は加熱不十分な状態で食べることはお勧めできません¹⁾。

引き続き、この鳥インフルエンザの動向には注意を払っていく必要があると考えます。

(文責 山下 征洋)

(参考資料)

- 1) 厚生労働省食品安全委員会 HP: 高病原性鳥インフルエンザについて、感染症法における感染症の分類
- 2) 農林水産省 HP: 令和2年度高病原性鳥インフルエンザの発生事例について
- 3) 北海道庁上川総合振興局 HP: 高病原性・低病原性鳥インフルエンザについて
- 4) 環境省 HP: 令和2年度高病原性鳥インフルエンザに関する情報

お問い合わせ

TEL 054-634-1000 FAX 054-634-1010
http://www.seikankensa.co.jp

最新の分析機器と高精度な技術で暮らしの安心、安全をサポートする

株式会社 静環検査センター

静岡県藤枝市高柳2310番地